

キウイフルーツ特報No.3

2023. 6. 15

JA 中野市営農センター

JA 中野市キウイフルーツ研究会

生育は、平年並み～やや早めに進んでいます。 開花期 6/3 (間山)
病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。
また高品質生産に向け、適期に適正なフルメット液剤処理を行いましょう。

1、病害虫防除

- 7月上旬定期散布 目安：7月10日頃

散布日 7月 日

散布量 ℓ

散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤 (ハイテンパワー) 10mℓ ダコニール 1000 100mℓ (60日前、7回)
対象病害虫	<u>花腐細菌病</u>
散布量	10a当り 350ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する
注意事項	① 主幹部のコウモリガ食入は針金等で刺殺する。 ② 【代替】ダコニール 1000 に代えてベンレート水和剤 2,000 倍 (7日前、5回) でも良い。 ③ 【カメムシ対策】カメムシの吸害が心配される場合はアディオン乳剤 2,000 倍 (7日前、5回) を加用する。

◇ 夏季管理講習会について

夏季管理についての講習会を開催致します。
都合をつけて、ご参加下さい。

日時 : 7月5日(水) 午前11時
集合場所: 日野集出荷所(日野事業所跡地道向かい)
内容 : 新梢管理について(芽かき、誘引、摘心)

● 【新梢管理】 ⇒ 一定の明るさを保つよう管理する

- ① 7月上旬頃より、2~3回新梢管理を行い、棚面の明るさを保つ。
- ② その後も、新梢の巻き付き部や徒長枝の整理を行う。
詳しくは5月配布のキウイフルーツ情報をご覧ください。

次面もご覧ください。

2、フルメット液剤処理

①処理時期目安

・赤肉・黄肉系品種（レインボーレッド／ゴールド）

開花日	20日後	25日後	30日後
5/19	6/8	6/13	6/18
5/20	6/9	6/14	6/19
5/21	6/10	6/15	6/20
5/22	6/11	6/16	6/21
5/23	6/12	6/17	6/22
5/24	6/13	6/18	6/23

・緑肉系品種（ハイワード）

開花日	20日後	25日後	30日後
6/1	6/21	6/26	7/1
6/2	6/22	6/27	7/2
6/3	6/23	6/28	7/3
6/4	6/24	6/29	7/4
6/5	6/25	6/30	7/5
6/6	6/26	7/1	7/6

② 処理方法 処理は年1回だけです。時期に応じて濃度を調整して下さい。

処理時期	処理濃度	処理方法
開花 20～25日後	2.5ppm (水4ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理
開花 25～30日後	5ppm (水2ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理

③ 処理上の注意

- ・ 乾ききる前の降雨で効果が低下するため、処理後に降雨がない日を選ぶ。
- ・ 着果量が多いと樹体への負担が過剰となり、樹勢低下や隔年結果の原因になりやすい。
⇒樹勢に応じた着果管理をしてからフルメット処理を行きましょう。
- ・ 処理濃度を高く行ったり、処理時期を早く行ったりすると、過度に果実が肥大して、変形や糖度が低下する等の問題を生じやすい。
- ・ 果頂部の突出や扁平果・果梗部の亀裂等が発生する場合がある。また、奇形果は果肉の軟化や落果等も生じやすいので注意が必要。